

# 手話で 伝える、

# 手話でつながる

・ご存じですか「手話はいのち! 周南市手話言語条例」・



## 手話とは? ~目で見えて話すひとつの「言語」です~

耳のきこえる人が声で会話をする日本語や英語のように、手話は手指や体の動き、表情などを目で見えて会話をするひとつの「言語」で、法律でも認められています。すべての人が手話を知り、生活のなかで使えるようになれば、コミュニケーションの輪は大きく広がります。

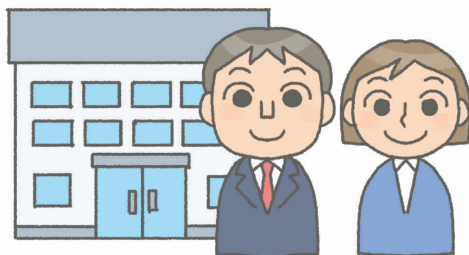
# 「手話は言語」みんなが理解と協力を

手話は、ろう者にとって「いのち」であり、不可欠な言語です。

周南市では、ろう者の生活に不可欠な言語である手話の普及及び習得機会の確保を図り、ろう者を含む誰もが心豊かに安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指し、令和2年9月23日、「手話はいのち! 周南市手話言語条例」を制定しました。

## 市役所は何をするのか

周南市では、手話が言語であることへの理解を広め、市や事業者、市民の皆さんの役割を明らかにして、誰もが手話を使いやすい環境をつくるために、さまざまな施策を推進します。



### たとえば…

#### 手話を学ぶ機会の確保

地域住民や行政機関の職員などが気軽に、また個々の目的に応じて手話を学習できるサークルや講座などを開設します(裏表紙参照)。



#### 手話による情報発信

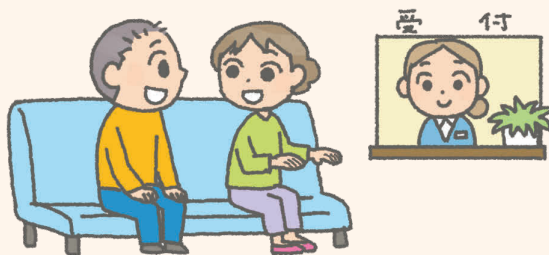
地域住民への普及啓発や、耳がきこえない・きこえにくい人に向けた行政情報などを、ホームページなどで手話を用いて情報発信します。



#### 手話通訳者の設置・派遣

市役所での手続きや相談がスムーズにできるよう、手話通訳者を設置します。

また、医療機関の受診、就職面接、冠婚葬祭など社会生活上必要と認められる場合、手話通訳者を派遣します。



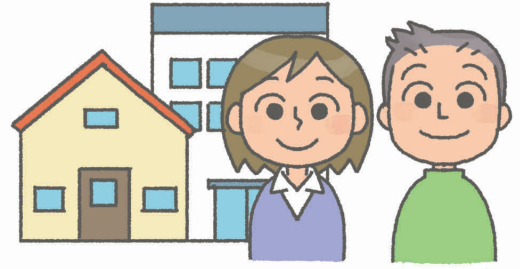
#### 教育の場での手話の普及

各種学校での手話学習や出前講座など、子どもから大人まで手話を学ぶ機会の提供を推進します。



# 地域住民は何をするのか

わたしたち住民は、手話への理解とともに、耳がきこえない・きこえにくい人に対して行われる行政のさまざまな施策や、事業者の配慮に積極的に協力します。



たとえば…

## 助け合いでつくる共生社会

まずは、手話に興味をもちましょう。地域の手話講座に参加したり、耳がきこえない・きこえにくい人への対応や支援の仕方について、私たちにできることは何かを考えましょう。豊かな共生社会は合理的な配慮による助け合いのなかから生まれます。

## 合理的な配慮とは？

障害のある人が障害のない人と同じように生活ができるよう、周りの人が、過度の負担にならない範囲で、必要な配慮を行うことをいいます。

# 事業者は何をするのか

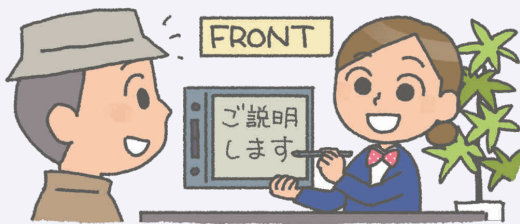
会社やお店などの事業者は、手話への理解とともに、耳がきこえない・きこえにくい人へのサービスや、耳がきこえない・きこえにくい従業員への配慮などを推進します。



たとえば…

## 音声以外による顧客対応

施設や店舗の受付などで、耳がきこえない・きこえにくい顧客に対して、手話をはじめとして、筆談など音声とは違う方法で会話ができるような準備や工夫をしましょう。



## 働きやすい環境づくり

耳がきこえない・きこえにくい従業員が職場に適應できるように、ほかの従業員が簡単な手話を覚えたり、筆談や絵・図などを利用して円滑な意思疎通をはかりましょう。



知っていますか

聴覚障害のある人はどんな人？

ろう者

生まれつき、または音声言語を獲得する前から耳がきこえない人で、主に手話を言語として生活している人です。

中途失聴者

音声言語の獲得後に、病気などによって人生の途中で耳がきこえなくなった人のことです。

難聴者

生まれつきかどうかにかかわらず、耳がきこえづらいが、聴力が残っている人です。

盲ろう者

視覚と聴覚の両方に障害を併せ持つ人のことです。

# よく理解して正しいサポートを

耳がきこえない・きこえにくい人は、普段どんなことに困っているのでしょうか。何に困っているのかを知って、正しいサポートにつなげましょう。ちょっとした「気づき」や「心配り」がコミュニケーションを円滑にします。

## こんなことで困っています

### 音による情報に気がつかない

病院や銀行などでの呼び出しや、駅や商業施設などでの放送による案内がきこえないので、いないと思われたり、必要な情報が得られなかったりします。



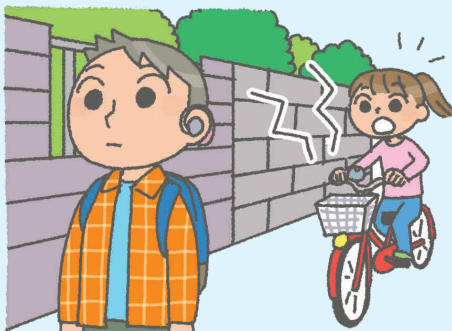
### 外見では気づいてもらえない

外見からはわかりにくいので、後方などから声をかけられて気づかなかったとき、「無視された」と誤解されることなどがあります。



### 周囲の状況がわかりにくい

自転車のベルや自動車のクラクションなどがきこえず、路上で危険な目にあうことがあります。また、災害時などの状況判断が遅れることがあります。



### 複数での会話が難しい

複数の人が同時に話すとき、相手の口の動きや表情が見えず、話の内容が理解できなくなることがあります。また、自分の思いも伝えられないことがあります。



### 接し方のポイント

耳がきこえない・きこえにくい人すべてが手話を使えるとはかぎりません。どのくらいきこえるかも人によってさまざまです。「きこえない?」と思ったら、その人の状態にあわせ、手話だけでなく、残っている聴力、口の動きや表情などスムーズなコミュニケーションに役立つ手がかりを見つけることが大切です。

# 手話を覚えよう

手話と親しむために身近なものから覚えて積極的に使ってみましょう。日常生活で何気なくしている自然な動作が、手話に似ている場合もあります。また、手話以外に役立つコミュニケーション方法も知っておきましょう。

こんにちは



人差し指と中指を立て、額にあてる。  
〔「昼」を表現〕

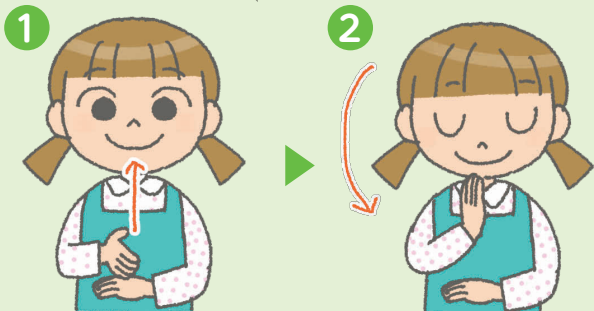
よろしくお願いします



1 右手のこぶしを鼻にあてる。  
〔「よい」を表現〕

2 手を開き、頭を下げながら手を出す。  
〔「お願い」を表現〕

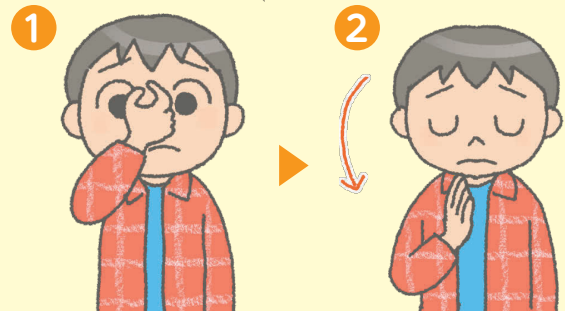
ありがとう



1 左手の甲に右手を乗せて上に上げる。  
〔力士の手刀と同様〕

2 頭はおじぎをするように軽く下げる。

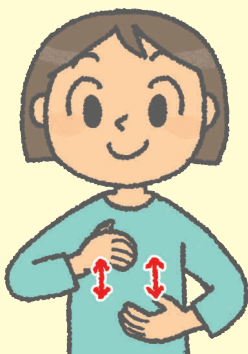
ごめんなさい



1 親指と人差し指で眉間をつまむ。

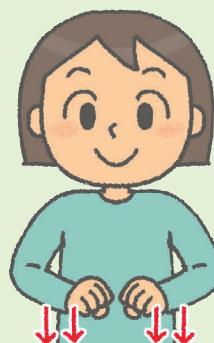
2 手を開き、指をそろえて下へおろしながら頭を下げる。

うれしい  
・楽しい



わん曲させた両手を折り曲げて、親指以外の指の指先を胸に向け、交互に上下に動かす。

元気



両肘を張り、胸の前で両手のこぶしを2回おろす。



わかる

右手の手のひらで、  
胸のあたりをトントン  
と軽くたたく。



わからない

右手の指先で、胸の  
下から肩のあたりを2  
回くらいかき上げる。



できる・  
大丈夫

右手の親指以外の4本の  
指の先を、左胸から右胸  
の順にあてる。  
※首をかしげて尋ねる表情をしな  
がら「大丈夫」を表すと「大丈  
夫ですか?」という意味になる。



できない  
・難しい

右手の親指と人差し  
指で、右頬を軽くつ  
ねるようにする。



地震

両手の手のひらを胸  
のあたりで上に向け  
て、左右同時に前後  
に動かす。



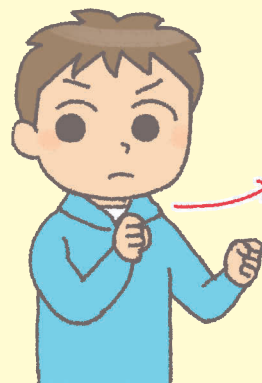
津波

左手の手のひらを胸  
のあたりで下に向け  
、それを乗り越えるよ  
うに指を開いた右手  
を前に出す。



危ない

折り曲げた右手 (も  
しくは両手) の指先  
で、胸を2回くらい  
たたく。



逃げる

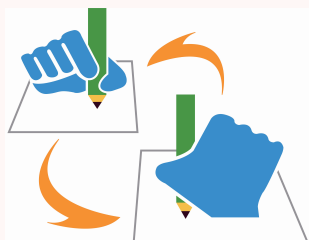
両手を握り、横にずら  
す。

※ここで紹介している手話と違う表現もあります。

# 手話以外のコミュニケーション

## 筆談

ノートやメモ帳などに文章を書きながら会話をしましょう。読み書きが苦手な人もいるので、あいまいな表現や、まわりくどい表現はさけて、短くわかりやすい文章を書くようにしましょう。



「筆談マーク」

## 空書

空間に指で大きくゆっくりと、なるべく画数が少なく、わかりやすい文字を書くように心がけてコミュニケーションをとりましょう。同じように、テーブルの上や手のひらなどに書く方法もあります。



## 口話

補聴器を使うことで少しきこえる人とは、ある程度、音声会話ができますが、大声を出すと相手がききづらくなることがあります。はっきり口を動かしながら、ゆっくりと話すようにしましょう。



## 要約筆記

手で書いたり、パソコンなどを使って、話の内容をその場で文字にして伝える通訳方法です。話すスピードは書くスピードよりも速く、すべてを文字にすることはできないため、内容を要約しながら伝えます。

※市では、医療機関の受診、就職面接、冠婚葬祭など社会生活上必要と認められる場合、要約筆記者の派遣を行います。

## その他

たとえば、図やイラストを描いたり、ジェスチャー（身振り）をしたりして、こちらが伝えたいことを表現するのも有効な方法です。必要に応じてさまざまな方法を組み合わせてみましょう。

## 会話のポイント

耳がきこえない・きこえにくい人と会話をするときは、話の内容をこまめに確認しながら進めましょう。手話などコミュニケーション方法の技術も必要ですが、いちばん大切なのは、「相手に伝えようとする気持ち」と「相手が伝えたいことをわかろうとする気持ち」です。

## このマークをご存じですか



### 耳マーク

聴覚障害のあることを示すマークです。このマークを提示されたら、必要とされるサポートをしましょう。



### 聴覚障害者標識

聴覚障害があることから運転免許に条件がある人の車に表示するマークです。周囲の運転者は配慮しましょう。

# ～手話を学びたい人は～

「手話を学びたい」という人のために、市内では目的に応じたサークルや講座が開設されています。多くの人と交流を深めるために、またボランティアや仕事として活用するために、積極的にご参加ください。

## 手話サークル

子どもから大人まで、誰もが気軽に参加できる地域活動です。手話を学ぶだけでなく、耳がきこえない・きこえにくい人たちと一緒にイベントなどを楽しむこともできます。きこえる人ときこえない人の垣根を取り除く活動を通じて、お互いの理解と交流を深めています。



## 手話奉仕員養成講座

手話をはじめて学ぶ人が、日常生活レベルの基本的な手話を習得することを目指す講座です。1年間、国が定めるカリキュラムに基づき、講義・実技にて学んでいきます。毎年3月頃に、広報紙やホームページなどで募集を行っています。



## 手話奉仕員ステップアップ養成講座

手話奉仕員養成講座を修了した人が、手話通訳者へのステップアップを目的として手話に関わる専門知識や専門技術を習得することを目指す講座です（履修年限は3年であり、3段階のステップに分けて学んでいきます）。

ステップ1(1年目) → ステップ2(2年目) → ステップ3(3年目)

※手話サークルや講座の詳細については、障害者支援課までお問い合わせください。



「手話マーク」

発行：周南市こども・福祉部 障害者支援課

〒745-8655 周南市岐山通1丁目1番地

TEL：(0834) 22-8387 FAX：(0834) 22-8464

MAIL：shogaifuku@city.shunan.lg.jp

協力：周南市聴覚障害者協会

令和5年3月発行

UD FONT  
by MORISAWA

ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



ここから、ここつながる。  
周南市

禁無断転載©東京法規出版  
SG030200-W22